

平成22年度 仏教テレフォン相談 統計分析表

平成22年6月1日～平成23年5月31日

〔 28年目 〕

相 談 開 室 日 数	210日
相 談 者 数	3,483人
1 日 平 均 相 談 者 数	16.6人
相 談 総 件 数	3,958件
1 日 平 均 相 談 件 数	18.8件

仏教テレフォン相談には、毎日、様々な悩み、苦しみ、救いを求める声が寄せられます。

それらの声から垣間見える現代社会の現象を考察してみました。

コンビニの雑誌コーナーの大半を占める女性誌。その内容はファッションと美容、食べ物が殆どである。しかし、そんな中に混ざって「聖地巡礼」とか「浄化スポット」などと、一見女性誌とは無関係の言葉が見える。いわゆるスピリチュアル系の記事に人気があり、それが売り上げ部数を大きく左右するらしい。確かに、ヒーリングや占いなど多種多様な広告が目につく。こんなのに誰が行くのかと思うが、広告である以上、雑誌社に広告料を支払っての掲載である。当然、収支のことも考えると、商売として成立しているのかもしれない。最近の傾向として「占い・迷信・靈感商法」の相談が減ってきた。巷でこんなにも流行しているにも関わらず相談が減ってきたのは、占いなどが市民権を得たことと、その商法が巧みになってきたからではないだろうか。カルト宗教でもなく、靈感商法でもない。しかし靈感やスピリチュアル等の言葉を用い、巧みに人々の心の隙間に入り込んでくる。

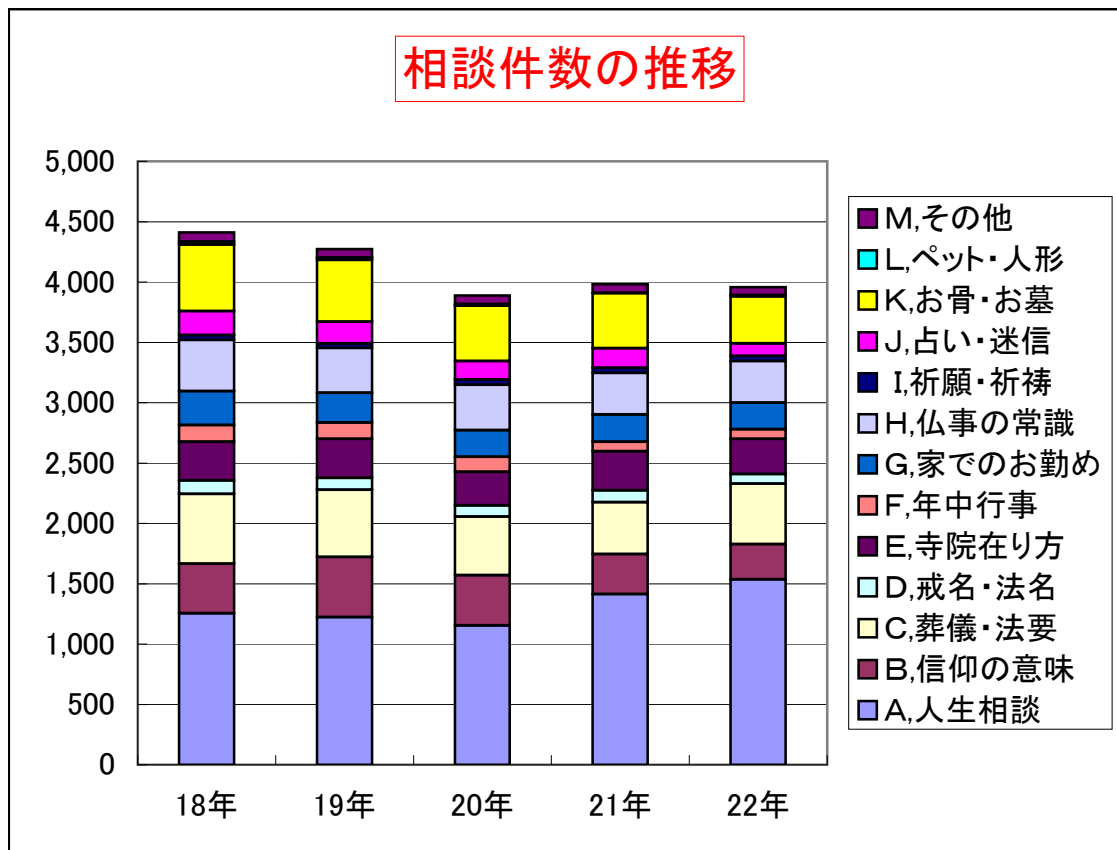
お釈迦さまは占いや迷信を厳しく禁じた。占いでは幸せにはならず、かえって生き方を惑わせる、と。いつの世も、私たちは迷っている。その私たちを正しく導くのは占いではなく、仏教という教えである。私たちの未来は、今日の生き方で決まる。

統計・水本／報告・互井

大分類

	件数	
A 人生相談	1,535	38.8%
B 信仰の意味、教義、仏教文化や学問	293	7.4%
C 葬儀、法要、供養、永代供養	501	12.7%
D 戒名・法名	80	2.0%
E 寺院・僧侶・既成教団の在り方や運営	291	7.3%
F 仏教の年間行事、特殊法要	79	2.0%
G 家庭での祀り方やお勤め	220	5.6%
H 仏事の常識やマナー	346	8.8%
I 既成寺社の祈願・祈祷	41	1.0%
J 占い、迷信、霊感・霊視商法(既成仏教以外のこと)	106	2.7%
K お骨・埋葬、墓地・墓石	389	9.8%
L ペット・針・人形などの供養	9	0.2%
M その他、時事問題や仏教以外の行事など	68	1.7%
	3,958	
N 行政機関やマスコミからの問い合わせ	79	

相談件数の推移



男女比

男性 40.5% 女性 59.5%

10代	0	3
20代	62	18
30代	104	146
40代	232	289
50代	360	567
60代	355	471
70代	164	343
80以上	56	134
不明	80	99
合計人数	1,413	2,070

